

ドキュメンタリー映画
鎌仲ひとみ監督作品

内部被ばくを生き抜く

同時開催 子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク 阿部宣幸氏 講演会



まもりたい! 未来のために

4人の医師が語る経験・広島—チェルノブイリ—イラク—福島



肥田舜太郎

被爆医師

内部被ばくに
警鐘を鳴らして六十六年

鎌田實

諏訪中央病院名誉院長
チェルノブイリ連帯基金代表
日本イラク医療支援ネットワーク代表
白血病や
がんの子ども達のために
働き続ける医師

児玉龍彦

東京大学アイソトープ総合センター長
福島現場で動き
発信する医師

スモルニコワ・
バレンチナ

小児科医
チェルノブイリで
臨床医四十五年

日時: 11月18日 (日)

午前の部: 開場 9:40 開演 10:10~13:00

午後の部: 開場 13:20 開演 13:50~16:40

場所: 川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

前売り券 1,000円 当日券 1,100円 保育あり (予約制200円)

チケットは、次の各所で取り扱っております。

川崎市アートセンター、WEショップあさお (小田急線 新百合ヶ丘駅 リサイクルショップ)、
ナッチュ (自然食品店)、ケルン (パン店)、カンガルー (パン店)

チケットは電話、又はファックス、又はメールにてお申し込みの上、

お振込みでのご購入も受け付けています。

振込票をチケット代わりとし、当日ご持参ください。

お振込み先 ゆうちょ銀行 00260-1-17833 神奈川ネットワーク運動・あさお

主催: 神奈川ネットワーク運動・あさお とめよう原発あさお

電話&ファックス 044-953-6568 Eメールアドレス net-asao@md.point.ne.jp http://asao.kanagawanet.jp/

未知なる危機に備えて 監督 鎌仲ひとみ

2011年3月に起きた東日本大震災によって原発が4つも爆発してしまった、その後の世界に私たちは生きている。大量の放射性物質が放出され、広範囲に拡散したことは解っているが、ではどれだけ出たのか実は正確な情報がない。放射性物質は環境に溶け込み、生態系に入り込んだ。呼吸や汚染された水・食品を通じて引き起こされる内部被ばくは、この時代に生きる私たち全員の問題となった。

これからいったい何が起きるのか、正確に予測できる人は実はいない。ただできることはありとあらゆる情報と可能性を吟味して、「命」を守る努力をするということだ。放射能は様々な局面で「命」の脅威となりえる。私たちは生き抜かねばならない、そのためのささやかな助けになればとこの作品を作った。

内部被ばくを生き抜く

まもりたい! 未来のために

4人の医師が語る経験・広島―チェルノブイリ―イラク―福島



早稲田大学卒業後ドキュメンタリー制作の現場へ。フリーの映像作家としてテレビ番組、映画を監督。2003年ドキュメンタリー映画『ヒバクシャ―世界の終わりに』以降、2006年『六ヶ所村ラブソフィー』、2010年『ミツバチの羽音と地球の回転』の3部作で放射能汚染、被ばく、原発やエネルギーの問題を追い続けてきた。



阿部宣幸氏 プロフィール

福島県福島市に在住し、子どもたちを放射能から守る福島ネットワークに所属。福島市のCRMS市民放射能測定所理事として、広報を担当。福島県を中心とした地域の食品の放射能測定に尽力するとともに、全国での市民放射能測定所の立ち上げに関わっている。



子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

Fukushima Network for Saving Children from Radiation

子どもたちを放射能から守る福島ネットワークとは

福島原発事故を受け、発足された団体です。法律での限度である年間1mSVから年間20mSVの暫定基準値によって、福島県の一部の子どもたちは、本来18歳未満は立ち入りを禁じられている「放射線管理区域」と同じ汚染地域の中で過ごしています。政府に対して年間20mSVの撤回や自主避難者に対する支援、汚染地域の除染、子どもたちの被曝低減対策などの要請を行ってきました。私たちは、放射線に対する知識の普及の為、定期的に講演会やイベントを催しています。



市民放射能測定所は、福島原子力発電所事故による放射能汚染に対して、市民が自らの手で自らを守るための測定を行い、放射線防護の知識を身に付け、各個人が自らで判断するための”道具”を提供する第三者機関として設立されました。外部線量および、食品、水、土壌、体内汚染の測定、モニタリングポスト設置、データの収集と測定結果の公開、国内外の専門家との連携とその分析、解釈の集約、および発表、測定方法とそのトレーニング、外部および内部被曝に関する情報の提供等が活動内容です。

今回の上映会及び講演会による収益の一部は、2月10日と7月1日に行われた講演会と同じく、CRMS市民放射能測定所へ寄付されます。

■アクセス■



川崎市アートセンター
kawasaki ART center

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
会場TEL 代表 044-955-0107
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口徒歩3分

- 駐車場はございません。
- 無料駐輪場50台分有。



協力団体：「福島の子どもたちとともに」川崎市民の会、WE21ジャパンあさお、WE21ジャパンたま、かわさき生活クラブ生活協同組合、くらすかわさき、神奈川ネットワーク運動高津Weネット、神奈川ネットワーク運動・宮前、さいわい原発問題を考える会、脱原発かわさき市民、脱原発を進める会かながわ